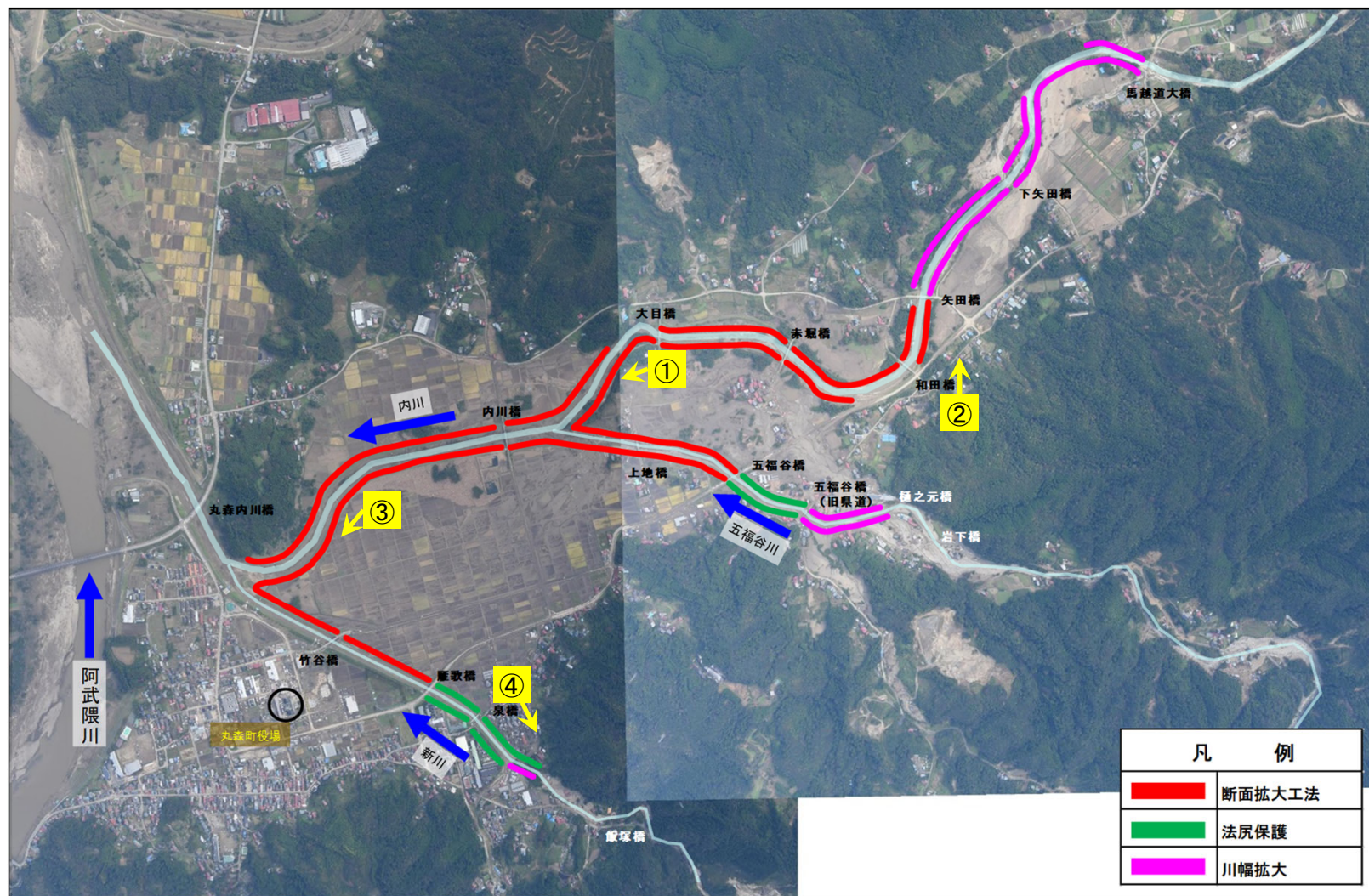


東日本台風に伴う河川災害復旧工事の進捗状況

- 令和元年10月12日に発生した東日本台風により、丸森町においては記録的な豪雨となり、その流域である内川、五福谷川及び新川では、18箇所の堤防が決壊するなど、甚大な被害が発生しました。
- この被災箇所の復旧については、国直轄での権限代行により、河道掘削、築堤及び堤防機能の強化などの河川災害復旧工事を実施しております。現在の工事進捗状況について紹介します。



東日本台風に伴う河川災害復旧工事の進捗状況

2022年7月時点

① 工事用道路施工中〈内川 大目橋下流〉



② 工事着手前状況〈内川 和田橋上流〉



③ 仮設工施工中〈内川・新川合流地点付近〉



④ 仮設工施工中〈新川 泉橋付近〉



計画変更（断面拡大工法）の経緯

一級河川 阿武隈川水系

うちかわ

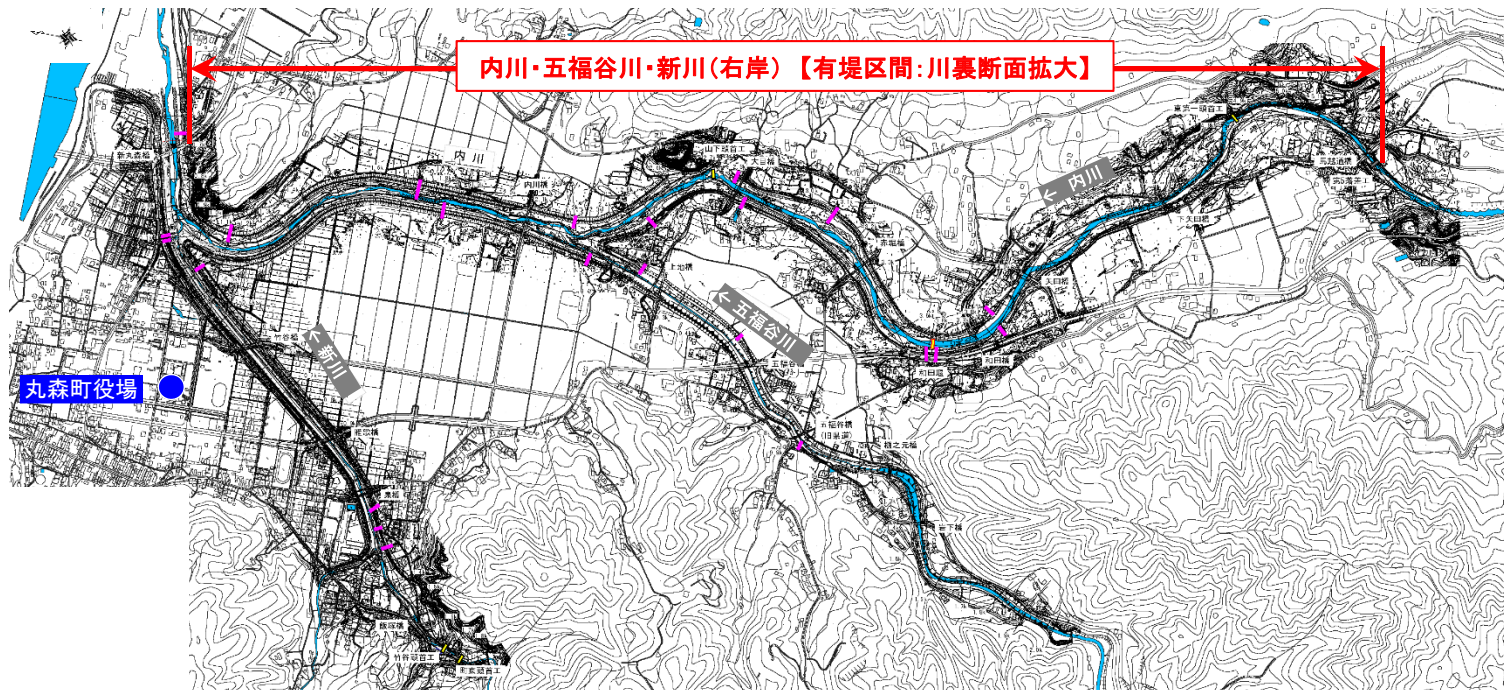
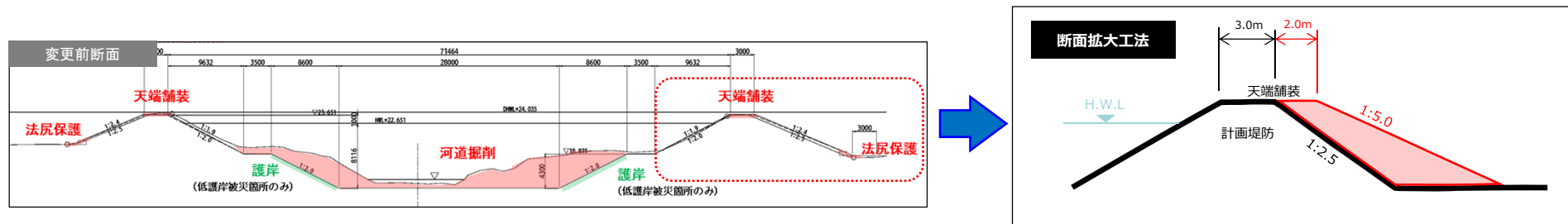
ごふくやがわ

しんかわ

内川，五福谷川，新川

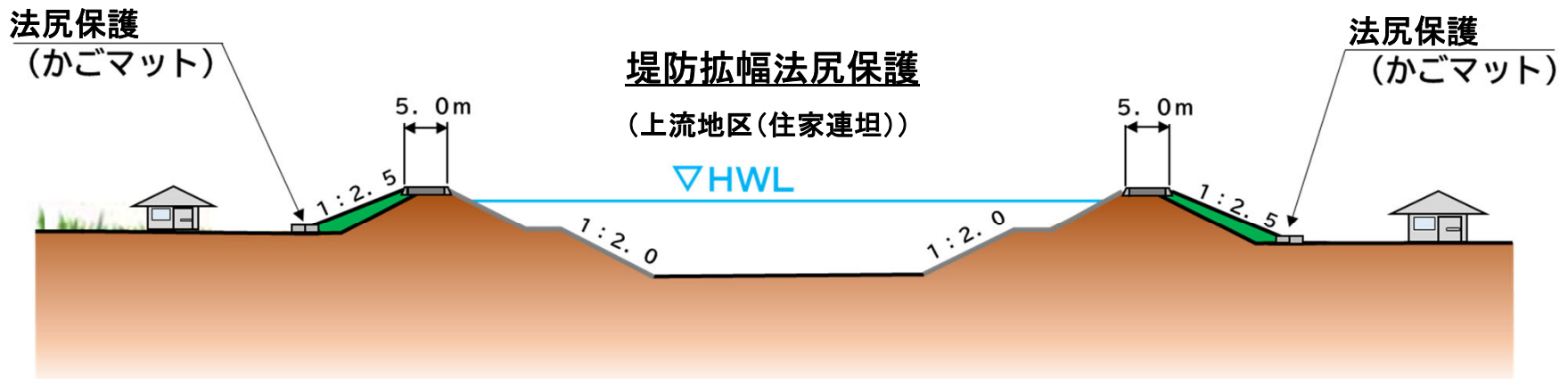
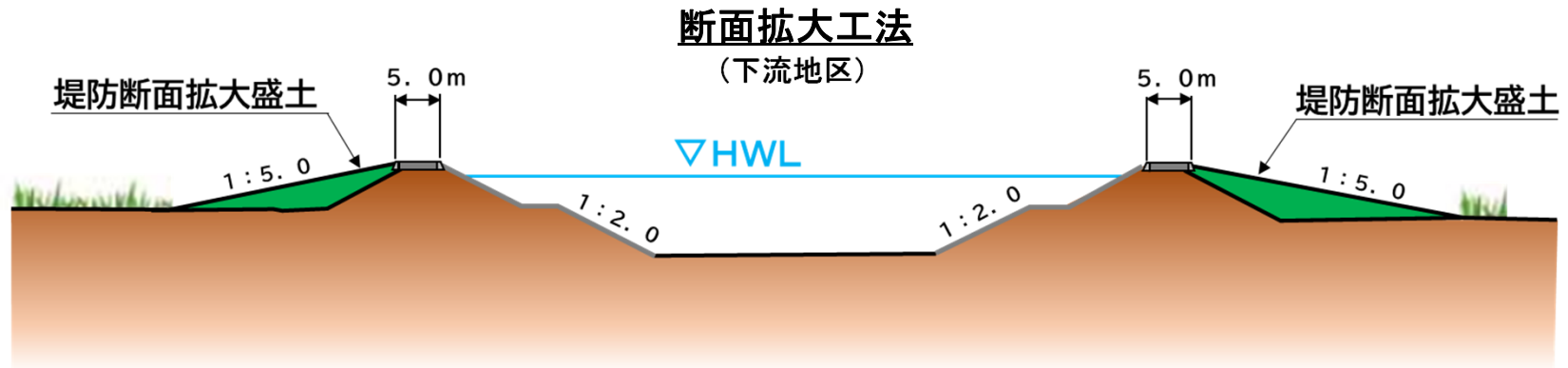
1 計画変更(断面拡大工法)の概要

- 当初の事業メニューでは有堤区間において、「越水しても壊れにくい堤防(粘り強い堤防)」として堤防の法尻保護(かごマット)設置を予定していた。
- 堤防法尻のかごマット設置の代替工法として「断面拡大工法」に計画変更し、掘削土砂の有効利用によりコスト縮減を図る。



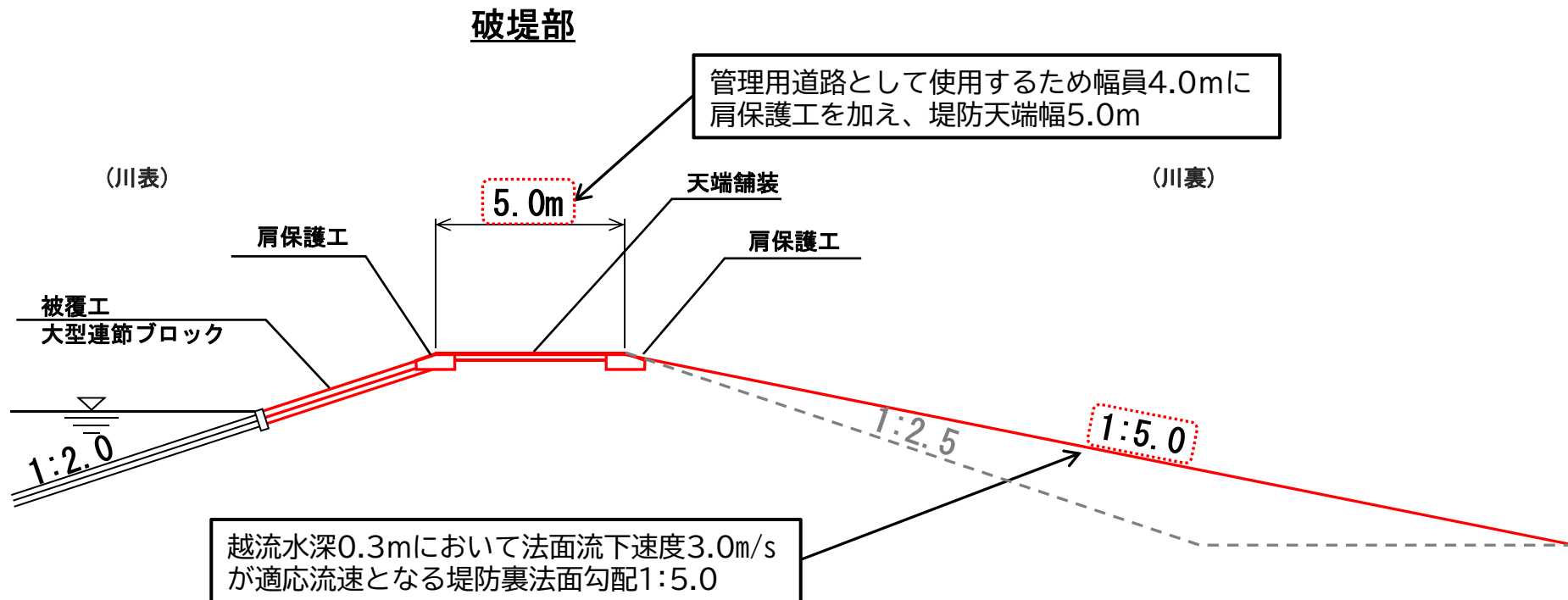
3 堤防強化工法の施工イメージ

■堤防天端の保護、断面拡大工法、堤防裏法尻の保護を行い、越水しても壊れにくい堤防を整備する。



4 断面拡大工法の諸元

- 堤防天端幅は、天端を管理用道路として使用するための幅員に肩保護工を加え、5.0mとする。
堤防天端幅(5.0m) = 幅員(4.0m) + 肩保護工(0.5m) × 2
- 堤防裏法面勾配 1 : 5.0
越流水深0.3mにおいて法面流下速度3.0m/s以下となる堤防裏法面勾配1 : 5.0とする。



<断面拡大工法における堤防の想定横断形状>